

宮原
地区

『代々』受け継ぐ『太々』神楽

今回は、「宮原八幡宮太々神楽保存会」取材してきました。
「宮原八幡宮太々神楽保存会」は、神話を基にした伝統芸能（神楽）を後世に引き継いでいくことを目的として活動しており、舞やお囃子を口伝秘法で継承しています。宮原八幡宮太々神楽は明治17年、宮原八幡宮宮司斎藤松寿氏が発起人となり、氏子が習得して例大祭（9月15日）に奉納されていました。一時、後継者不足になりましたが、昭和58年に保存会が結成、翌年（昭和59）に那須烏山市の無形民俗文化財に指定されました。現在は新メンバーも加わり、宮原地区の敬老会、なかがわ水遊園の節分イベントにて、伝統ある舞を披露されています。機会があったら是非皆さんもご覧になって下さい。きっと『すごっ!』ってなりますよ(^^♪



練習風景



なかがわ水遊園イベント(2月2日)



代表 田村 健志氏

現在のメンバーは初代から数えて6代目になります。昔は氏子の長男しか参加できませんでしたが、現在は長男以外（女子）も様々な人達が参加できるようになりました。舞やお囃子は『口伝』なので楽譜などが一切無く大変なことも多いのですが、練習回数を増やして様々なイベントで発表できるようにメンバー全員一丸となって頑張っていますので、皆さんからの出演依頼を心からお待ちしております。

茶の間が下の絵のようになっていませんか？

コタツから出る時間を作ろう！



⇒意識して身体を動かす時間を作きましょう



暖かい時間に外に出て日光浴や散歩



冬も水分補給を忘れずに